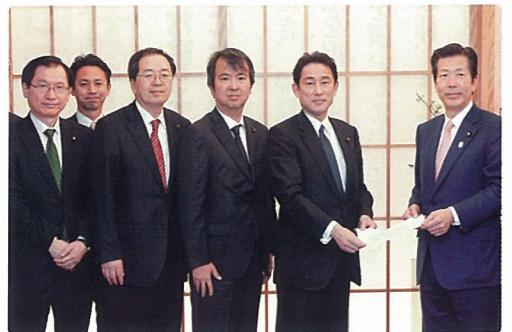


浜田まさよし通信

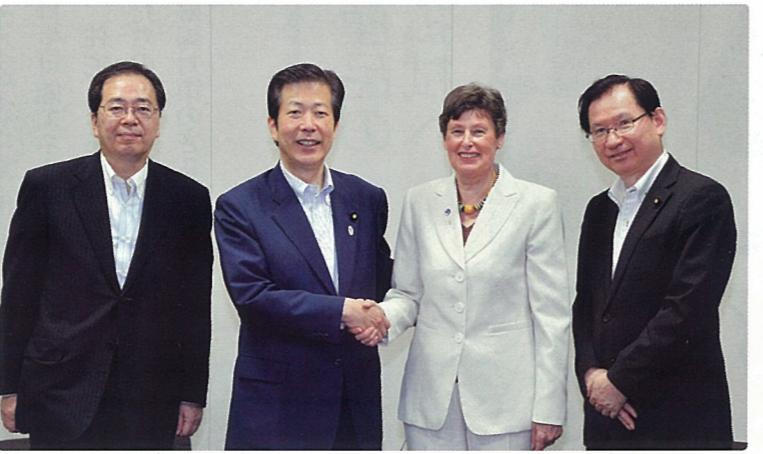
HAMADA MASAYOSHI NEWS



www.hamada-m.com



NPD広島会合について外務大臣への申し入れ 4月2日



山口代表と共にアンガラ・ケイン国連軍縮問題担当上級代表と会談 8月8日



核廃絶推進委員会座長として広島で8.6平和提言を記者発表 8月6日



講演会：パグウォッシュ2015組織委員会 委員長 鈴木達治郎氏 8月6日



連続講演会スタートの山口代表あいさつ 12月17日

講演会：公益財団法人広島平和文化センター 理事長 小溝泰義氏 8月6日

講演会：パグウォッシュ2015組織委員会 委員長 鈴木達治郎氏 8月6日

講演会：公益財団法人広島平和文化センター 理事長 小溝泰義氏 8月6日

明年2015年、原爆投下70年に催される核不拡散条約（NPT）再検討会議。「核兵器のない世界への法的枠組み」への具体的一步が求められています。

核廃絶推進委員会座長として、昨年末から4回にわたり連続講演会を開催し、6人の講師の基調講演を受け、広島、長崎の地元議員、NGO、政府関係者と唯一の戦争被爆国としての貢献の在り方を、検討して参りました。

4月には公明党の申し入れにより、軍縮・不拡散ニシアティブ（NPD）広島外相会合から、「広島宣言」を世界に発信。

さらに、公明党として、広島・長崎でのサミット開催などを内容とする8・6提言—核兵器のない世界に向けての法的枠組みへ積極的貢献を―を発表し、8月8日には、アンガラ・ケイン国連軍縮問題担当上級代表とのハイレベル外交を実現しました。



講演会：共同通信社編集委員 太田昌克氏 12月17日



講演会：ピースボート 共同代表 川崎哲氏 12月17日



講演会：一橋大学 教授 秋山信将氏 1月27日



講演会：大阪女学院大学大学院教授・大阪大学名誉教授 黒澤満氏 7月4日

核兵器のない世界へ、着実な「一歩」

核廃絶推進委員会の取り組み



西湘海岸保全事業 着手式に出席 6月8日



太田国土交通大臣 への申入れ 2013年11月



制度改善に期待を寄せる通関事業者（横浜市中区）を視察 4月23日

2012年11月2日に提出した質問主意書で、輸入消費税の「延納制度」の改善と小規模企業が納税しやすい環境の整備を要請。消費税8%となつた4月から、延納制度が大幅改善されるとともに、商工組合中央金庫による保証制度も大々的に活用できる体制になりました。



質問主意書、答弁書 2012年11月

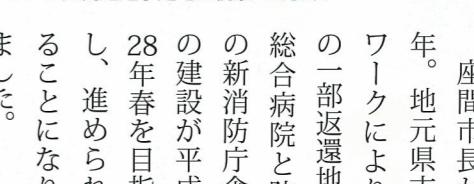
相模湾に面する西湘海岸は海岸の浸食が激しく、50メートル以上もあつた砂浜が今は10メートルというところもあり、昨年の10月には小学生2人が高波にさらわれる等、台風のたびに大きな事故に見舞われてきました。

事故翌月の11月に、神奈川県知事や二宮町長らとともに、太田国土交通大臣へ公明党神奈川県本部の国会議員・県会議員で直接要請を行い、平成26年度予算で西湘海岸保全整備事業がついに国直轄事業として決定。小田原市酒匂川から二宮・大磯までの13キロにわたり、30メートル以上の海岸を復活させるという総事業費181億円というプロジェクトです。防災だけではなく、観光・漁業にもプラスの効果が期待されています。

国直轄による 西湘海岸保全事業が決定



キャンプ座間返還予定地を視察 2月3日



座間市長から要望を頂いて4年。地元県市会議員とのネットワークにより、「キャンプ座間」の新消防庁舎の建設が平成28年春を目指し、進められることになりました。



座間市・遠藤市長と意見交換 2010年11月

輸入の際の消費税納税負担の軽減へ、 政府への質問主意書により大きく前進

2012年11月2日に提出した質問主意書で、輸入消費税の「延納制度」の改善と小規模企業が納税しやすい環境の整備を要請。消費税8%となつた4月から、延納制度が大幅改善されるとともに、商工組合中央金庫による保証制度も大々的に活用できる体制になりました。

米軍・キャンプ座間一部返還による 命を守る拠点整備が実現

メールマガジン
毎週月曜日配信中！



登録用QRコード
空メールを送れば
登録完了です。

浜田まさよし PROFILE

今、神奈川、静岡、福島を中心に活動展開中！

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち
- 横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 経済産業省課長を経て平成16年7月、参議院議員選挙初当選。平成22年再選、現在2期目。外務大臣政務官、参議院予算委員会理事、法務委員長、公明党参議院政審会長、同原発災害対策本部事務局長、同福島復興再生推進プロジェクトチーム事務局長、同通学路の安全対策プロジェクトチーム座長等を経て、現在、復興副大臣、公明党核廃絶推進委員会座長、同神奈川県本部代表代行、同静岡県本部顧問、同福島県担当等
- 日本平和学会会員、ストップ結核推進議員連盟事務局長

復興の拍音

復興副大臣として福島に常駐して600日。福島の復興再生がカタチになってきてています。

政権交代を実現いただき、福島を中心とする原子力災害からの復興再生を担当する復興副大臣として、福島の皆様のお声を頂いてまいりました。

サクラランボ、桃、あんぽ柿、メヒカリ等、おいしい福島産農水産品の風評被害対策も大きく前進。また、常磐道、常磐線などの交通インフラ復旧や、温泉熱、小水力、風力等の再生可能エネルギーの先导プロジェクトもスタート。住宅・まちづくり、そして県民健康調査、子どもたちの遊具の取り替えをはじめとする健康医療・放射線対策のさらなる拡充に全力を尽くします。

福島産農水産品の風評被害の払拭へ



安倍総理大臣に同行(福島市サクラランボ農家)



住宅・まちづくりの加速へ

健康医療・放射線対策の充実



交通インフラの再開・整備へ



再生可能エネルギー先進県を目指して

